

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
緩和ケア論		BNNSS4L38	30903	2後	1(30)	必修
担当教員	中島 優子	実務歴	有	看護師として病院に11年勤務		
担当教員	中森 美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	今堀 智恵子	実務歴	有	看護師として病院に26年勤務		
担当教員	宇多 雅	実務歴	有	看護師として病院に17年勤務		
概要	人を全人的く身体的・精神的・社会的・霊的(スピリチュアル)な存在として包括的に捉え、生命を脅かす疾患による問題に直面している人やその家族のおかれている状況を理解し、必要とされる緩和ケアや多職種によるチーム医療について基本的な知識を学ぶ。また、緩和ケアを担う看護師の役割や姿勢について学ぶ。さらに、事例検討を通し、終末期にある人や家族への支援を提供するための思考を獲得する。(オムニバス方式/全15回)					
学修目標	1) 生命を脅かす疾患をもつ人や家族に提供される緩和ケアの概念を説明できる。 2) 人を全人的存在と捉える視点を持ち、生命を脅かす疾患をもつ人や家族がたどるプロセスとその苦悩について説明できる。 3) 尊厳を支え、苦悩を和らげる看護援助について説明できる。 4) チーム医療の必要性和看護師の役割について説明できる。 5) 事例検討を通して、終末期にある人や家族の状況を説明でき、必要な支援を提供するために思考過程が活用できる。					
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	緩和ケアの考え方①(緩和ケアの定義・概念の理解)			・主要概念について:緩和ケア・ホスピスケア、全人的苦痛、スピリチュアルペイン、自己概念、QOL、尊厳、チーム医療 家族ケア、地域包括ケア		
2	緩和ケアの考え方②(がんを取り巻く現状の理解)			・がんを取り巻く状況(がんに関する疫学データ、がん患者、家族に関するデータ、法律、がんの病態と臨床経過)について		
3	生命を脅かす疾患を持つ人の包括的理解(トータルペイン)と支援			・生命を脅かす疾患を持つ患者の特徴とその支援について ・緩和ケアが提供される場について		
4	症状マネジメントの基本的理解①(生活への影響)			・がん患者に生じやすい苦痛症状について ・苦痛症状による日常生活への影響と生活を支える支援について		
5	症状マネジメントの基本的理解②(疼痛、呼吸困難、倦怠感 食欲不振 等 グループワーク)			・苦痛症状の特徴・メカニズム、アセスメント、生活への影響、マネジメント(治療、支援)方法について(次回に向けて課題あり)		
6	症状マネジメントの基本的理解③(グループで成果発表)			前回の課題の成果発表。課題は提出する		
7	がん療養のプロセスの理解・意思決定支援			・がんの病理、病態と臨床経過、がん患者とその家族がたどる療養プロセスについて ・療養プロセスに生じる倫理的問題と意思決定支援 ・バッドニュースを受ける人への支援		
8	抗がん治療を受ける人への支援			・がん医療における集学的治療の方法、目的、身体への影響について。抗がん剤については薬理学の復習。 ・抗がん治療を受ける患者と家族の特徴(身体、生活への影響をはじめとする全人的特徴) ・抗がん治療期にある患者と家族への支援		

9	終末期にある人への支援① (終末期にある患者と家族の特徴とその支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期から臨死期にある患者の身体の変化と全人的苦痛 ・終末期から臨死期にある患者の家族の特徴 ・喪失と悲嘆、看取り、グリーフケアについて
10	終末期にある人への支援② (臨死期の患者と家族の特徴の理解とその支援)	
11	事例検討①／個人・グループワーク②	学修内容のワークができるよう思考の整理をしておく(1～10講)。課題は提出する
12		
13	事例検討②／個人・グループワーク③事例検討成果発表	学修内容のワークができるよう思考の整理をしておく(1～12講)。課題は提出する
14		
15		
使用テキスト	1)梅田恵、的場典子編(2018)『看護学テキストNICE 緩和ケア第2版』第2版 南江堂 2)小松 浩子他(2017)系統看護学講座 別巻『がん看護学』第2版 医学書院 3)神田清子、二渡玉江(2018)『成人看護技術 がん・ターミナルケア』メヂカルフレンド社 他必要に応じ、資料を配布する。	
参考図書	清水健(2017)『112日間のママ』小学館 青鹿ユウ(2017)『今日から第二の患者さん』小学館 藤河るり(2016) 『元気になるシカ!』KADOKAWA	
成績評価基準	授業への参画・貢献度 / 課題レポート等30%、定期試験 70%	